

2019年10月10日
日本電気硝子株式会社

スマートグラス用基板ガラスとして世界最高性能を達成

日本電気硝子株式会社（本社：滋賀県大津市 社長：松本元春）は、拡張現実（AR: Augmented Reality）や複合現実（MR: Mixed Reality）対応のスマートグラス^{（※1）}用として、世界最高^{（※2）}の屈折率および内部透過率を備えた新しい基板ガラスの開発に成功しました。

AR や MR といった最先端技術の進化に伴い、スマートグラスは、次世代のコミュニケーションデバイスとして市場の拡大が期待されています。仮想映像を伝えるスマートグラス用基板ガラスには、より広い視野角を得るための高い屈折率や、より明るい映像を表示するための高い内部透過率が求められます。

この度、当社が新たに開発したガラスは、スマートグラス用基板ガラスとして世界最高の屈折率 2.0^{（※2）}と内部透過率 98%^{（※3）}を実現しました。これらにより視野角が拡大し、より明るい映像表示が可能になります。また、屈折率 2.0 を有する 12 インチウェア基板としては世界最薄^{（※2）}の 0.3mm を達成しており、薄型・軽量化および視認性の向上にも寄与します。今後は、この基板ガラスを市場に提供することにより、さらなるスマートグラス市場の成長に貢献してまいります。

本製品は、10月15日（火）～18日（金）に開催される CEATEC 2019（千葉・幕張メッセ）の日本電気硝子展示ブース（ホール2 ブース No.G003）に出展予定です。

（※1）メガネ型のウェアラブル端末。現実と仮想映像を重ねたり、仮想映像に対して、能動的に働きかけたりできる。

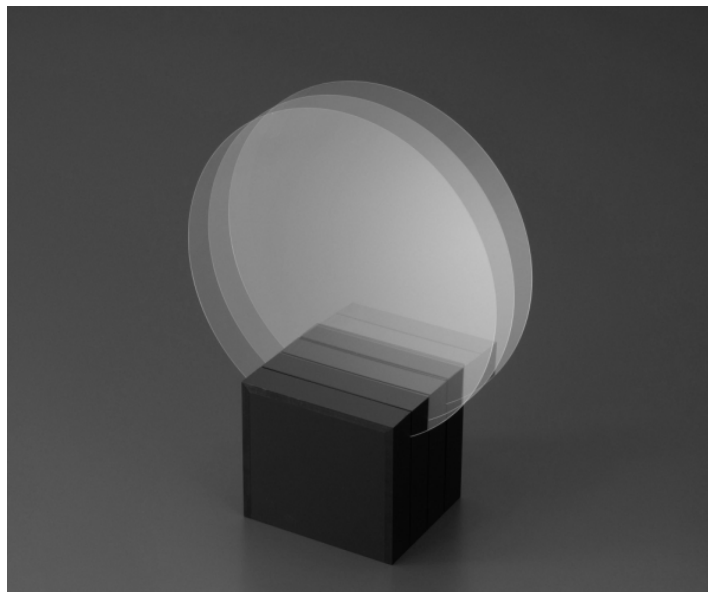
（※2）2019年10月現在 当社調べ

（※3）波長 500nm、厚さ 10mm

<本製品の特長とメリット>

- ・ 高い屈折率
- ・ 高い内部透過率
- ・ 直径 12 インチサイズで 0.3mmの薄さ
- … 取り込む映像表示領域の拡大
- … より明るい映像の実現
- … ウェハ工程への適用と薄型・軽量化

<製品写真>



日本電気硝子株式会社 〒520-8639 滋賀県大津市晴嵐二丁目7番1号

《リリース内容に関するお問い合わせ》

総務部 広報担当

電話：077-537-1702（ダイヤルイン）

《製品に関するお問い合わせ》

電子部品事業本部 営業部

電話：06-6399-2722（ダイヤルイン）